

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 緩和領域における消化管ステントの実際_』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 助教 長尾 さやか

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 外科では、緩和ケアを要する根治困難な病状の患者さんに対して、近年の技術の進歩により侵襲的処置(手術・血管内治療・消化管ステント)を行うことが増えてきました。以前では困難だったこれらの侵襲的処置により劇的な症状緩和が得られ、患者さんの生活の質の向上を得られることが増えていきます。しかしながら現在ではその適応はケースバイケースとされ、主治医の判断に任されることがほとんどです。そこで今回、とくに消化管狭窄に対しての症例を多く経験している当科のこれまでのデータをまとめて緩和ケア領域における消化管ステントの安全性や有効性を検討します。

【研究対象および方法】

東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:1993年 1月 ～2020年 08月までに東邦大学医療センター大橋病院において、症状緩和目的に内視鏡的ステント留置をおこなった患者様 82例が対象です。診療録(カルテ)から臨床経過や具体的な症状緩和の経過を具体的に抽出し、緩和ケア領域における消化管ステントの安全性や有効性を示します。

【研究に用いられる試料・情報】

疾患名、手技にかかわるデータ、合併症の有無を含めた臨床経過、予後

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院_研究代表医師:長尾 さやか 役職:助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 助教 長尾 さやか

電話 03-3468-1251_内線 7182